



岡田 聡 議員

環境問題の啓発は？

町長

電気自動車などを活用する

【岡田】地球温暖化の影響と言われる災害が多発している。本町でも、第二次地球温暖化対策実行計画に取り組んでいるが、不十分ではないか。

【町長】現在、実行計画に沿って、コピー用紙や文具などの再生品の使用、会議資料の削減、省エネ機器の導入、照明・OA機器の使用電力の削減、冷暖房時の設定温度の見直し、職員の定時退庁などの取り組みを進めている。今後も継続的に力を入れていく。



電気自動車のデマンドバス

【岡田】国民的課題と考えるが町民への啓発は。

【町長】風力発電「た空海号」は環境保護活動のシンボルとして、また、デマンドバス事業の電気自動車の使用、住宅用太陽光発電などへの補助事業や、太陽光発電に係る町有地の貸し出しなどは、啓発を意識したものである。

【岡田】軟質プラスチックや衣類の分別収集はできないか。

【町長】回収や運搬方法、費用対効果など検討を行いたい。

マイナンバー制度の取り組みは？

町長

さらなる広報と

条例改正を行う

【岡田】2016年1月からスタートする制度だが、認知度は非常に低いと思われる。また、年金情報の流出問題で、国の情報管理体制に対する国民の不安は強まっている。

認知度を高める啓発が必要ではないか。

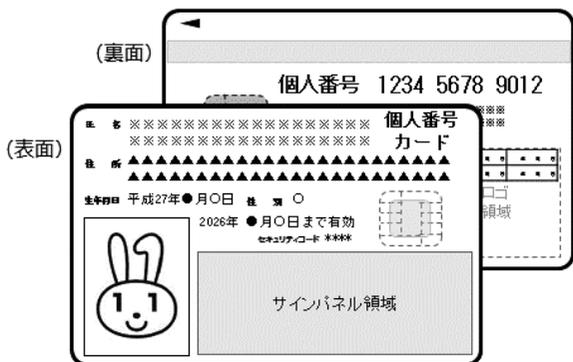
【町長】昨年から広報誌やホームページへの掲載、現在は大山チャンネルで1日2回啓発ビデオを流している。

10月以降通知カードを送付するので、詳しい内容を広報誌で周知する。

【岡田】利用範囲は。

【町長】社会保障・税・防災分野などの事務で

【町長】データは一カ所で管理されるのではなく、それぞれの役所で別々に管理される。国の通達に対応するほか、違反者には厳しい罰則もある。



ICチップがついたマイナンバーカード(見本)